

厚生労働行政推進調査事業費補助金
(地球規模保健課題解決推進のための行政施策に関する研究事業)
分担研究報告書
ASEAN における活動的で健康的な高齢期の推進に関する研究
「改訂版 HAAI－日本と ASEAN6 か国の比較と評価」

研究分担者	林玲子	国立社会保障・人口問題研究所
	中川雅貴	国立社会保障・人口問題研究所
	佐々木由理	国立保健医療科学院
	菖蒲川由郷	新潟大学
	荒井秀典	国立長寿医療研究センター
研究代表者	曾根智史	国立保健医療科学院
研究協力者	綿引信義	国立保健医療科学院

研究要旨

2017年に設定された健康で活動的な高齢化指標を基に、「日本-ASEAN 健康で活動的な高齢化指標 (HAAI)」の構成を6領域43指標に設定し、日本、インドネシア、タイ、ミャンマー、マレーシア、ベトナム、フィリピンの指標を収集し、HAAIを算定し、領域別に表示した。各指標の内容と値・出典、算定結果とグラフはデータファイルエクセルおよびガイドライン第2部にとりまとめた。

A. 研究目的

本研究は、2020年8月の世界保健総会、12月の国連総会で採択された、国連「健康な高齢化の10年2021-2030 (United Nations Decade of Healthy Ageing (2021-2030))」の理念に応じ、ASEAN+3諸国における健康で活動的な高齢化 (Healthy and Active Ageing) の指標化を通じて比較分析および政策提言を行うことを目的としている。

B. 研究方法

最終年度である今年度は、第1年度で情報収集した既存の高齢化指標の枠組みを参照しながら第2年度で検討した領域・指標構成に基づき、6領域43指標を設定し、日

本、インドネシア、タイ、ミャンマー、マレーシア、ベトナム、フィリピンの指標を収集し、HAAIを算定した。

算定には、各指標データがある国について偏差値を計算し、その値を領域毎に平均値を算定、さらに領域の値を平均し HAAI 合計値を算定することとした。

(倫理面への配慮)

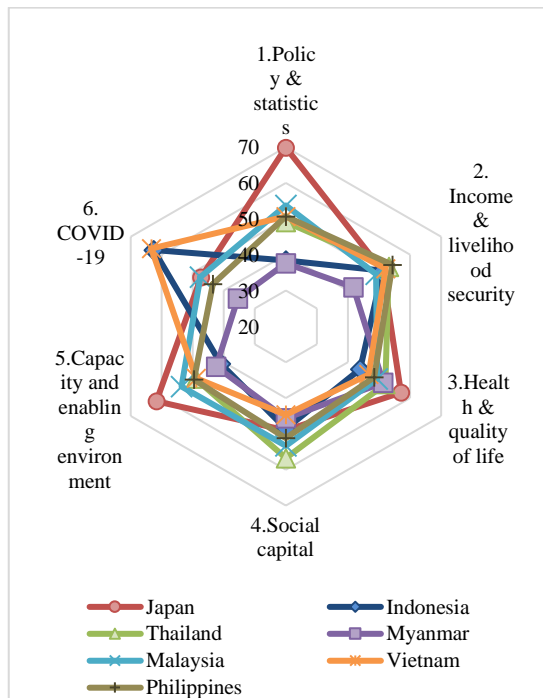
公表されているデータを用いて研究を行った。

C. 研究結果

HAAI の算定結果および指標の特徴等は、データファイルおよびガイドライン第2部にとりまとめた。

日本と ASEAN 6 か国の HAAI は日本が一番高く、ミャンマーが一番低いが、領域別に見るとすべての領域で一位である国はなく、国により領域別の健康で活動的な高齢化の様相が異なることが示された。

算定結果によるレーダーチャートをエラー！参照元が見つかりません。に示す。



D. 考察

欧州統計局が各国の調査内容を標準化し、その結果を用いることのできる欧州 Active Ageing Index と異なり、アジアにおける高齢化指標は、国によりデータの有無が異なることが大きな障害であった。しかしながら、今回用いた、データのある国だけで偏差値を計算し、それを集計する方法であれば、少なくとも 3 カ国のデータがあれば、その指標を HAAI に組み入れることができ、データ制約を可能な限り回避できた。

同じ指標でも回答肢が異なったり、活動の頻度等細部の内容が異なったりと、国を

超えて比較可能な指標を得ることは難しい。しかしながら、国際比較により指標を比べることで、それが調査方法や設問形式によるものなのか、実情によるものなのか、現状を認識することにつながる。またデータがない場合、その有用性を関係者に認識させることにもなる。高齢者指標は、必ずしも厳密に比較可能なものではなく、指標を収集するプロセスを含め、その作業に意義がある、ともいえよう。

当初 SDG 指標を用いることで、データ収集が進むことを期待したが、SDG 中間点である現在も、国連 SDG データベース上には、年齢別に分けたデータがあまりない。一方、高齢者に関する調査が ASEAN 諸国でも多く行われるようになり、WEB 上にデータが公表されることも多くなっている。それらのリソースを十分に活用することが重要である。

E. 結論

今後は比較する国の追加、さらなる指標の吟味、追加を通じて、より広く健康的で活動的な高齢化を国際比較することが望まれる。また今回は日本を中心にした研究班であったが、今後は ACAI (ASEAN Centre for Active Ageing and Innovation) など、各国、各地域が主体的に HAAI を算定し、現状を把握することで、その国の高齢化施策が進展することが期待される。

G. 研究発表

1. 論文発表
なし

2. 学会発表

HAYASHI Reiko “Healthy and Active Ageing Index (HAAI) – How to measure in

Asia?”, The 7th Meeting of the ACAI Governing Board and the Consultative Meeting for Setting Regional Priority Areas of Action for ACAI, Bangkok, Thailand and online (2022.5.5)

HAYASHI Reiko “Global Impact of COVID-19 on Population Dynamics”, 2nd International Borneo Public Health Conference (IBPHC) 2022, online (2022.8.24)

HAYASHI Reiko “Regional Difference of COVID-19 Mortality: Excess and Deficit”, The International Conference on Population Geographies 2022, online (2022.8.25)

H. 知的財産権の出願・登録状況
(予定を含む。)

なし

